

労働者党は、19参院選に向けて、以下のような政治路線と政策で闘います

1、労働者党の政党としての原則的立場と政策

一つは、長時間労働、ブラック労働に象徴される、搾取労働の即時廃止の要求です。二つは、二千万人にも急増してきた非正規労働者や女性労働者にみられる差別労働の即時廃止です。

これらの要求は、何かとんでもない要求に思われるかもしれませんが。しかし安倍首相自身が、昨年「働き方改革」を内閣の最重要課題に掲げたときに、長時間労働の一掃は「躊躇（ちゅうちよ）なしに行う」、差別労働の廃止は「待ったなしの最重要課題だ」と国民に約束したものです。

2、バラマキによる「経済成長」や「福祉」は幻想！その結果は大増税、超インフレ！

安倍政権は、“異次元の”金融緩和で日銀からカネをバラ

私たちは、安倍首相が「待ったなしに、すぐ行う」と国民に約束したことを、直ちに実行してほしいと言っているだけです！それとも安倍首相は、単なるリップサービスで国民をだましたのでしょうか？もしそうならこんな政権は働く者の手によって直ちに葬り葬り去られるべきです！

マキ、それでもってデフレ脱却や経済成長、雇用拡大が出来るかに言ってきました。ところが、これらの目標はいずれも実現せず、アベノミクスは、結局一部の投資家や金持ちの為であったことが明らかになりました。社会保障も、少子高齢化が進む中で、安倍政権が人気取りのために、ただカネをバラマキだけなら近い将来行き詰まるのは必至です。これらのバラマキ政策によって、日本の借金、GDPの236%、なんと財政破綻に瀕しているギリシャの197%をはるかに超える危機的状況なのです。財政破綻のツケは、結局大増税や超インフレとなって国民に襲い掛かってくることになるのです。

3、モリ・カケ問題は安倍の権力私物化の象徴！

野党はいまだにモリ・カケ問題の真実を明らかにせよなどと叫んでいます。しかし、モリ・カケ問題が（国民全てが知っているように）、安倍政権の権力犯罪であることはど明らかではありません。安倍は「自分や妻が関係していたなら、内閣総理大臣も議員も辞める」と国会で大見得を切ったのですから、直ちに辞めるべきです。

野党がやるべきことは、安倍政権打倒の、デモや集会ストライキ等の大衆行動を国民に呼びかける事です。

6、野党共闘ではダメ「別個に進んで一緒に撃て」で行こう！

共産党は野党が共闘しなければ、自民党に勝てないといっています。しかし、国民民主党や立憲民主党の連中と組んで何ができるのでしょうか？昨年の衆院選で自民党の大勝を許したのも、他力本願の野党共闘路線です。

労働者党は「労働者の真の代表を国会へ！」「働く者が主人公の社会の実現」「搾取労働を廃絶し労働の解放を！」を合言葉に、皆さんと共に闘っていきます。

4、朝鮮、台湾等を植民地にし、中国や東南アジアを侵略した歴史的
事実は消せない！

安倍一派と安倍内閣は、日本がヒットラーのドイツ、ムッソリーニのイタリアなどと、ファシズム三国として第二次世界大戦を引き起こし、アジア各国を侵略し、何百万、何

5、9条改憲策動を許すな！改憲するなら
天皇制を廃絶せよ

千万の犠牲を出した張本人であるにもかかわらず、そんな事実がなかったかのように言いはやし、逆に日本の侵略戦争を「祖国防衛の正義だった」などと正当化する「歴史修正主義」を振りまいています。今また彼らは、日米同盟を旗印に軍備増強に励み、再び軍国主義の道を歩もうとしているのです。今まさに、日本国民は、歴史の分かれ道に立っているのです。労働者党は安倍反動政権打倒のために全力を尽くします

安倍の改憲案は、現在の9条

私たちは、改憲を言うなら国民主権と矛盾する、身分差別の象徴である「天皇制」条項の削除することを主張します。

古川ひとしの決意

私の立候補する愛知選挙区は、ご承知のとおりトヨタ自動車を頂点とする自動車産業や航空機、工作機械などの日本最大の製造業の集積地です。そこに働く労働者の日々の労働が、自動車や飛行機、マザーマシンといわれる工作機械を生み出し、社会の富を作り出しています。しかし、多くの労働者は長時間労働や交代制の非人間的な深夜労働、低賃金、不安定な非正規労働を強いられています。10年前のリーマンショックの時にはトヨタを先頭に真っ先に首を切られたのは、非正規の派遣労働者の人たちです。満足な保証もなく低賃

金の非正規労働者や、言いたいことも言えずに従順に会社に従う事では、生活の糧を得ることが出来ずに、苦悩している労働者の皆さん！資本家のどんな搾取労働こそが、低賃金や差別的な労働を生み出しているのであり、搾取労働の廃止のために自民党政権は独占資本の支配と非妥協的に戦います。国会議員や政治を信用できない

。いと嘆いている皆さん、古川ひとしは労働者の皆さんの先頭に立つて最後まで闘いぬきます。国会に真に信頼でき、自分たちの利益を擁護し、自民党や資本家の悪だくみを暴露し、闘いを鼓舞する議員を皆さんの力でこの愛知から国会に送り出してください。新しい歴史を切り開きましょう

連絡先

〒179-0074 東京都練馬区春日町

1-11-12-409 全国社研社

03-6795-2822

090-6598-4832 (古川)

★豊橋駅頭で演説する古川予定候補



乾坤一擲、現在の閉塞状況を打ち破ろう！

もつれた束になった糸の絡みを断ち切る鉄槌を持つ男、我々を圧殺しつつある虚偽の政治的空洞に勇気を持って立ち向かう勇者、サイクロンのように行く手にあるものをなぎ倒す勢いを持つ人物、そして今一人、巨人に立ち向かう。過去をすて勝利の領域への前進的跳躍を目指す者、それが愛知に燦然として輝く古川均さん。

彼が一度口を開けば、汲めど尽きない泉の如く、扇動の嵐が吹きすさぶ。この扇動の波長に、生気を失った人々のまどろみを覚ます震駭的な打撃力が存在するのなら、不毛な時代の中で虚

飾を吹き飛ばす一陣の風を送り届けるであろう。

古川さんが名古屋に移住してきたころ印象に残っているのは、カネがなくて事務所にあったコーヒーの粉をなめて空腹をしのいでいた事を今でも強烈に印象に残っています。あれから40年。愛知の先頭で闘い続けてきました。参院選を闘う事を素早く決断したことに驚きましたが、今ここで闘わなければいつ闘うのか！という叫びに勇気づけられました。病魔に襲われ降板した参院選から32年、再び参院選を闘う事になり、秘めた決意は固そうです。(吉)

【古川ひとし 略歴】

1954年、北海道上川町に生まれる。69年東大安田講堂の攻防戦に衝撃を受けて、69年旭川龍谷高校入学後デモ等に参加し、活動を開始する。新左翼運動が下火になる中で全国社研の「国際共産主義労働運動史」に旭川の書店で奇跡的に遭遇し、革命運動への参加を決意。卒業後、旭川、札幌で活動し、76年衆院選で名古屋に応援に入りその後、78年名古屋に移住。87年社労党から名古屋市議選に立候補。旭川、札幌、名古屋で20近い会社を転職し、現在コンピューター関係の仕事に従事。

現在、党愛知支部支部長

労働の解放をめざす労働者党 (略称労働者党)

参議院愛知選挙区予定候補 (内部資料)

古川ひとしを国会へ！